第２次総合計画　前期基本計画 ◆ 施策マネジメントシート	平成 28 年度の実績評価	表面

政　策	3：地域の魅力が輝くまちづくり	重点施策	施策主管課	作成日	平成 29 年 3 月 31 日
施　策	3-3：集客資源の創出と充実		商工観光課	更新日	平成 年 月 日
基本事業	1：地域資源を活かした魅力の向上 2：観光客の受入体制の充実				

【施策の目的と取り組み・現状分析】

1 施策の目的（最終目標）は何ですか？	施策の対象（誰、何が）	市民、来訪者、事業者
	施策の意図（どのようになることを目指しますか）	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込む

2 「最終目標」を実現するために必要な「直近の目標」は何ですか？	▼「最終目標」を実現するために必要なことは何ですか？（最終目標に向かって、今はどのようになることを目指すのか。【直近の目標】） 基本事業ごとに記入してください。
	1：伊達氏ゆかりの史跡「梁川八幡神社整備事業」を進め,梁川八幡神社、霊山などに誘客する。 2：「伊達氏」「霊山」「桃」「あんぽ柿」などの観光ブランドの普及拡大のため、仙台圏、首都圏を対象に、観光商品（グリーンツーリズムなど）の開発と販売ルートの確保・拡大を図る。 3：本市特有の資源である「伊達氏発祥の地」の歴史をPRする手段として、「政宗ダテニクル」を最大限活用しアニメツーリズムを展開、国内、国外（インバウンド）から誘客を図る。 お土産品・特産品の発掘・開発を図り、市内商店街を回遊する仕組みを構築する。 4：観光による地域経済の好循環化が図られるよう、伊達市観光物産交流協会と連携しながら、市内外からの誘客、ツアーの造成・実施、伊達マルシェなどの物産展の開催、団体・事業者を支援などを取り組む。

3 yanagawa		単位	25年度（実績）	26年度（実績）	27年度（実績）	28年度（実績）	29年度（目標）	目標値（30年度）
A	観光入込客数 （伊達市による観光客入込状況調査）	人	525,692	615,993	667,143	729,003	750,000	800,000
B	観光情報ポータルサイト「だてめがね」へのアクセス数 （観光情報ポータルサイト「だてめがね」へのアクセス数）	件	169,972	171,774	185,730	233,385	250,000	300,000
C	自らが主体となって誘客に取り組む団体数 （伊達市観光物産協会加入団体数）	団体	170	176	176	176	190	195
D	自らが主体となって誘客に取り組むガイド団体数 （伊達市観光物産協会に加入しているガイド団体数）	団体	4	4	4	4	7	9
E								
F								
G								
H								

4 「直近の目標」に対し、この1年間にどのような取り組みを行いましたか？	▼「直近の目標」の実現に向けて、取り組んだことは何ですか？	
	① 高子岡舘跡の駐車場兼イベント広場の整備	② 観光商品の開発・仙台圏・首都圏でのPRによる誘客、伊達氏ゆかりの史跡をめぐるツアー、スタンプラリー等の企画・実施
	③ ボランティア団体による観光案内の実施	④ 福島ガイナックスと協議を重ねながら「政宗ダテニクル」1～4話を製作、試写会、アニメに関する旅行企画等を実施
	⑤ 「政宗ダテニクル」関連グッツ、等身大フィギィア「朝宗公」の製作	⑥ 阿武急保原駅内に観光案内所を設置、観光案内と市物産のPRを実

5 施策の「対象」の現状はどのように変化しましたか？	▼ 現状把握に努めましたか。 把握した現状とその変化、市民や議会の声などを記入してください。
	・地元住民により自主的に、おもてなしが行われた。 ・仙台圏・首都圏におけるPR活動により、伊達市の認知度が上がった。 ・「政宗ダテニクル」により伊達氏歴代当主の名前が認知された。 ・「政宗ダテニクル」のファンが増えた。
6 今後に影響するような、大きな環境変化はありましたか？	▼ 総合計画策定時には想定できなかった大きな環境の変化などを記入してください。

【裏面へ】

第２次総合計画	前期基本計画 ◆ 施策マネジメントシート	平成 28 年度の実績評価	裏面

【施策の振り返り】

7 4の取り組みの成果は何ですか？	▼ 成果があった点を4の取り組みごとに原因を踏まえて記入してください。	
	① 来市されたお客様に対し、梁川八幡神社、高子岡、霊山等ボランティアガイドが案内し、きめ細やかな対応が好評であった。	② 国見町・桑折町と連携し「伊達氏発祥の地」観光商品スタンプラリーを前年度に引き続き実施、約千人参加
	③ 「政宗ダテニクル」関連イベントを実施、県内外から誘客することができた。	④ 「政宗ダテニクル」関連商品の開発
	⑤ 伊達市の観光及び物産の振興を担う法人格を持った団体が設立され、今後の活動が期待される。	⑥
8 4の取り組みの問題点は何ですか？	▼ 問題がある点を4の取り組みごとに原因を踏まえて記入してください。	
	① 整備後の施設の活用、管理方法について、検討が必要	② 日帰りのお客様であり、りょうぜん紅彩館などの宿泊施設への誘導ができていない。
	③ 観光物産交流協会の組織力・収益力・企画力の向上	④ 「政宗ダテニクル」を活用し、伊達市を訪れてみたくなる仕組み、訪問者に対してのおもてなし、特産品等の開発が必要
	⑤ 「政宗ダテニクル」の国内へのPR、また海外へのPR検討 広報力の強化（SNSの適切な運用）	⑥ 近隣市町村との連携による誘客方法の構築

【結論】

9 「7」及び「8」の振り返りを踏まえ、「2」の「直近の目標」を向上させますか？	○ さらに向上させる	現状維持とする
	▼ 選択した理由を記入してください。（さらに向上させる場合、見直し後の「直近の目標」を記入してください。）	
	・伊達氏ゆかりの史跡の整備「高子岡舘跡」を予定どおり進める。 ・「政宗ダテニクル」1話公開の評価は上々、今年度においては、伊達市民をはじめ、インターネット内のファンやフォロアーに対し適時情報を発信するとともに、試写会やイベント、アニメフェスへの参加等により直接接触し、福島県伊達市の認知度を向上させる。 ・アニメを活用した観光商品開発（聖地巡礼・お土産品等）を進める。 ・北畠顕家公の生誕700年や霊山の歴史・景観・施設を活用し集客を図る。 ・伊達市観光物産交流協会の組織力、収益力、企画力の向上を図る。	
10 施策全体の今後の方向性は？	▼ 上記「9」の選択を受け、今後の方向性をどう考えますか。【中長期的視点から、基本事業ごとに記入してください】	
	1：伊達氏ゆかりの史跡を計画年度までに完成させる。 2：首都圏・仙台圏からの誘客に対応できる旅行商品、観光商品を開発する。 　観光サインの見直し・検討する。 3：アニメ制作会社に協力を得ながら、あらゆる手段を使いアニメ作品の周知に努める。 　聖地巡礼・お土産などアニメツーリズムによる観光まちづくりを進める。 　インバウンドについて近隣市町村（二本松市など）と協力しながら、取り組みの検討をする。 　「政宗ダテニクル」に興味がある市内商工業者とともに、新商品開発の促進やまちなかの賑わいづくりに取り組む。 4：ボランティア団体等の育成・支援をする。 　伊達市観光物産交流協会が、民間における伊達市の観光・物産の中心的な団体となるように協同する。	

11 以上から、「伸ばすべき成果」と「解決すべき問題」をどう捉え、施策実現のため今後はどのような対策を行うのですか？

▼ 施策を実現するために必要となる「伸ばすべき成果」と「解決すべき問題」を記入し、それらに対する今後の対策を具体的に記入してください。【直近での取り組み】

施策における「伸ばすべき成果」または「解決すべき問題」	区分	具体的な対策
伊達氏ゆかりの史跡の整備	成果	伊達氏発祥の地である高子岡の整備を進め、他部局と協議しながら伊達氏関連の歴史観光をさらに進める。
霊山周辺観光資源の活用	成果	霊山道路、ICの設置、大霊山線などのアクセス環境の変化をチャンスととらえ、霊山・霊山神社・こどもの村・紅彩館・道の駅への周遊、霊山でのボルダリングの可能性、北畠顕家公生誕700年に向けた、関係地域との連携、イベントなど観光資源の活用を検討する。
旅行商品の開発	成果	首都圏・仙台圏からの誘客、りょうぜん紅彩館、つきだて花工房等への宿泊も含めた自然(霊山等)・歴史観光のルートを開発する。 「政宗ダテニクル」によるアニメツーリーズムを展開、市民をはじめ日本全国の歴史マニア（歴女）などが来訪するような仕掛け（試写会・コスプレ・痛車・聖地巡礼・スタンプラリー等）を検討する。
観光商品の開発と販売	成果	伊達市独自のお土産品・名産品など、6次化商品の開発と発掘を行うとともに、観光物産交流協会での販売促進と道の駅でのPR・販売等に取り組む。 法人格を取得した伊達市観光物産交流協会が、主体的に事業を展開する。
ホームページ、パンフレット、SNSによる情報発信・PR	成果	市ホームページやだてめがねの内容を充実する。 ツイッターやフェイスブックなどのSNSによる情報発信に取り組む。